

9月12日(火)～15日(金)

自転車教室

警察庁のまとめによると、自転車に乗った人が死傷した交通事故は2022年に7万件近く起こったそうです。自転車は子供から大人まで、誰でも手軽に乗ることができますが、同時にルールを守って乗らないと危険が伴います。

今年度も多度津小学校の3年生と6年生のために、交通安全を守る会や交通指導員の方が自転車の正しい乗り方を指導してくださいました。自転車は子供から大人まで、誰でも手軽に乗ることができますが、同時にルールを守って乗らないと命にかかわる危険が伴います。大人の中にルールを守らず自転車に乗っている人がいます。しかし、それは正しいことではありません。命を大切にできる多小っ子のみなさんは、教えていただいたことをきちんと守って自転車に乗ってくれると信じています。



AI型ドリルが導入されました



9月から4年生～6年生にAI型ドリルが導入されました。9月8日(金)からはタブレット端末を持ち帰っての宿題も始まりました。

導入に向けて全教員が研修を受けました。しかし、多度津小学校の児童にあった、よりよい使い方を見いだすために、教員同士が日々、情報交換をしながら考えています。

授業でも活用しながら、児童の学力向上につながるように努めます。

県教委が「コードスマ」を作成

県教育委員会が小学生の保護者向けに、子供たちの安全なネット利用を啓発するコラム「コードスマ」を作成しました。今回のテーマは「スマホのルールづくり」です。裏面に掲載していますので、是非お読みください。次回は10月にも発行される予定です。

今回のテーマ

スマホのルールづくり



ルールづくりとペアレンタルコントロール ドコモショップ屋島店 小松義幸

「お子様にいつスマホを持たせるか?」これはとても難しい問題です。結論から言えば、**お子様が必要になった時に持たせてあげる**のがベストなのではないでしょうか?

「いつ持たせるか」よりも、「なぜ持たせるか」を重要視してあげてください。家族との連絡に使うのか?友達との連絡に使うのか?学校の授業で使うのか?息抜きのゲームに使うのか?

スマホの用途を親子でしっかり話し合うことが大事のように感じます。スマホを持たせた時は適切なペアレンタルコントロールもお忘れなく。お子様のスマホにフィルタリングの機能やアプリを設定することはとても重要です。ペアレンタルコントロール機能で**利用時間を制限**することで使いすぎや依存を抑止し、フィルタリング機能で**不適切なサイトやアプリをブロック**してあげることでトラブルに巻き込まれることを防止できます。

安心してスマホを利用するために必要なフィルタリングですが、お店にいらっしゃるお客様の中にはフィルタリングに使用したパスワードがわからなくなって制限が解除できなくなり、初期化、修理、買い替えを必要とするお客様もいらっしゃいます。**制限やブロックはかけた**

らかけっぱなしにするのではなく親子で話し合って、適宜調整してあげることが大切です。

スマホはとても便利なツールですが、未成年のうちは親の管理も必要です。お子様だけ、親御様だけで利用するのではなく親子一緒にルールと機能を設定して、安心、安全に付き合っていきましょう。



小松義幸 プロフィール

ドコモショップ屋島店勤務。スマホ操作案内歴9年。スマホ教室講師歴4年、年300回登壇経験あり。出張スマホ教室平均月1回実施(開催場所:ショッピングセンター、コミュニティーセンター、公民館等)。2020年3月にKSB 瀬戸内海放送「たままとスマホ」でスマホ教室コーナーに出演。2023年「親子で考えよう!子どものスマホデビュー講座」の講師を務める。

子どもの成長に合わせたルールづくりを

香川県教育委員会

ネット利用は便利で楽しいものですが、その反面、使い方を間違えると大きな問題につながることも。子どもたちが正しく安全にネットを使っていけるように、よりよいルール作りをしていきましょう。ここではルール作りのポイントを紹介します。

①子どもの成長段階にあったルールを

子どもの成長段階に合わせて、その能力にあった使い方を選びましょう。兄弟姉妹の上の子に合わせるなど、背伸びさせるのはよくありません。

②子どもとルールをつくる

ルールは子どもと一緒に考え、子ども自身が自分で作ったという実感がもてるのが大切です。その際、どんな危険があるのかを伝えて、ルールの必要性を理解させましょう。その上で子どもの主張も聞き入れてください。また、家族のルールも一緒に決め、みんなで守っていくようにするのもいいですね。

③守れなかったときにどうするかを決める

ルールが守れなかった時にどうするかを事前に子どもと話し合って決めておき、毅然と対応しましょう。また、「守れて当たり前」になっ

てしまうと、「守ろう」という意欲が低下してしまいます。一定期間守れたら家族で楽しいおでかけをするなど、うれしいことがあるといいかもしれません。

④子どもの成長等に合わせて定期的に見直す

子どもたちはどんどん成長していきます。それに合わせて、ルールを見直していきましょう。ルールを緩める場合や新しいアプリを入れる場合は、その危険性を伝え、話し合うことが大切です。

ルール作りのポイントを4点お伝えしましたが、普段からネットの利用について話することも大切です。そうすることで、小さなことでも相談しやすくなります。子どものネット利用に興味をもち、時々話をしながら子どものネット利用を見守っていきましょう。

